

予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：商工費 項：商工費 目：商業振興費

事業名 中心市街地活性化推進事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 県産品流通支援課 県産品振興係 電話番号：058-272-1111 (内 3097)

E-mail : c11370@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 1,500 千円 (前年度予算額：1,500 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	1,500	0	0	0	0	0	0	0	1,500
要求額	1,500	0	0	0	0	0	0	0	1,500
決定額	1,500	0	0	0	0	0	0	0	1,500

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

- ・本県各地の中心市街地は、郊外居住、モータリゼーションの進展、大規模小売店舗の郊外立地等による「まち自体の郊外化」と、「中心市街地自体の魅力の低下」が進んでいる。
- ・平成20年度には、J R 岐阜駅周辺地域が一体的な一つの街として集客性・回遊性・利便性・機能性などの向上を図り、県都岐阜市に相応しい中心市街地となるよう「J R 岐阜駅周辺施設連携促進協議会」を設立。
- ・協議会を活用し、県・岐阜市のみならず、駅周辺施設が一体となって事業を実施する必要がある。

【 J R 岐阜駅周辺 6 施設 】

アクティブG、J R 岐阜駅、アスティ岐阜、ハートフルスクエアG、岐阜シティ・タワー43、じゅうろくプラザ

(2) 事業内容

令和3年度は、県都岐阜市の玄関口であるJR岐阜駅周辺において、賑わい創出イベント等を実施する。

- 主催・共催イベントの実施
- 協議会、幹事会等の各種会議の開催
- 防災講習会の開催
- 街がつながるガイドマップの作成(年3回) など

(3) 県負担・補助率の考え方

県、岐阜市及びJR岐阜駅周辺の各施設から、それぞれ負担金を拠出し、県都の玄関口であるJR岐阜駅周辺の賑わいを創出するための事業であるため、県負担は妥当。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
負担金	1,500	・ JR岐阜駅周辺施設連携促進協議会負担金
合計	1,500	

決定額の考え方

事業評価調書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

- ・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
- ・JR岐阜駅周辺地域を一体的な一つの街とし、その集客性・回遊性・機能性などの向上を図ることにより、県都岐阜市にふさわしい中心市街地となるよう周辺施設等が一体となった取組を推進する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値 (前々年度末時点)	目標	達成率
・協議会主催イベントの参加者数		3,778人 (H29)	7,019人 (H30)	9,011人 (R1)	8,000人 (R3)	112.6%

○指標を設定することができない場合の理由

（前年度の取組）

- ・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）
 - (1) 主催イベントの開催
 - ・令和3年1,2月（予定）、内容未定
 - 令和元年度実績：9月14日・15日／11月16日・17日
 - ギフトエキサイブ&マーケット
 - (2) 共催イベントの開催
 - ・令和2年7月～12月 アクティブG等を活用したイベント
 - (3) 第1回協議会（総会）の開催
 - ・令和2年7月1日 規約の改正、令和元年度事業報告・決算、令和2年度事業計画・収支予算などを承認
 - (4) 総務運営部会の開催
 - ・協議会主催・共催・後援イベントの周知及び各種情報交換
 - (5) JR岐阜駅周辺施設のガイドマップの作成
 - ・各2,500部（令和2年9月30日発行、令和3年2月末発行予定）
 - (6) 防災講習会の開催
 - ・各施設で連携することができる防災講習会を開催予定。

(前年度の成果)

- ・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果
- ・コロナ禍において、内容を変更するなどして賑わいイベントを実施することができた。また、定期的に行う J R 岐阜駅周辺の賑わいの創出のみならず、J R 岐阜駅周辺施設利用者の安心安全に資することができた。

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か） ○：必要性が高い △：必要性が低い	
(評価) ○	J R 岐阜駅周辺施設の集客性・回遊性・機能性の向上のためには、J R 岐阜駅の各施設や関係団体等との一体的な取組が必要不可欠である。
・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） ○：概ね期待どおりまたはそれ以上の成果が得られている △：まだ期待どおりの成果が得られていない	
(評価) ○	当協議会で主催・共催するイベント実施を通じて、J R 岐阜駅主変施設間の協力関係も深まっており、設立当初の期待以上の効果が得られている。
・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） ○：効率化は図られている △：向上の余地がある	
(評価) ○	各施設の連携を図ることにより、賑わいの相乗効果を生むことができた。また、J R 岐阜駅周辺施設にて実施するイベント等を集約したイベントスケジュールを作成、共有することにより、J R 岐阜駅に訪れた方へ効果的にイベント等の案内をすることができた。

(今後の課題)

- ・事業が直面する課題や改善が必要な事項
- ・J R 岐阜駅周辺施設及び関係団体の一層の連携強化を図り、引き続き、駅周辺の一体化の機運醸成を図っていくとともに、個々の施設、イベントをより魅力あるものとしていく必要がある。

(次年度の方向性)

- ・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか
- ・J R 岐阜駅周辺を県都岐阜市にふさわしい玄関口とするため、より一層の協力関係を築きつつ、にぎわい創出に力をいれていく必要がある。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	